



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

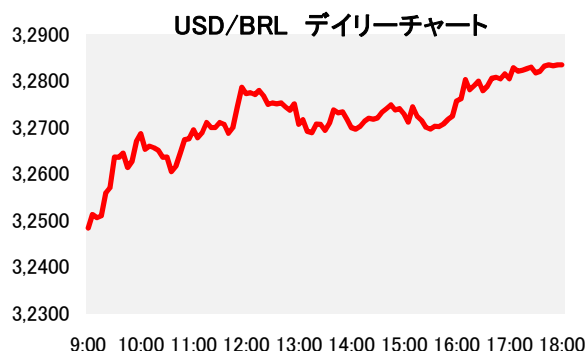
1. マーケット・レート

			8月29日	8月30日	8月31日	9月1日	9月5日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2300	3.2400	3.2260	3.2570	3.2830	+0.0260
	BRL/JPY	Spot	31.55	31.78	32.05	31.69	31.50	-0.19
	EUR/USD	Spot	1.1189	1.1143	1.1157	1.1198	1.1146	-0.0052
	USD/JPY	Spot	101.92	102.99	103.43	103.21	103.43	+0.22
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.852	13.829	13.856	13.763	13.719	-0.044
	Future	1Year(p.a.)	13.130	13.116	13.145	12.988	12.928	-0.059
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.283	2.175	2.155	2.225	2.190	-0.035
	USD	1Year(p.a.)	2.439	2.347	2.331	2.381	2.288	-0.093
株式	Bovespa指数		58610	58575	57901	58236	59566	1.330
CDS	CDS Brazil 5y		257.61	258.63	259.60	260.72	256.85	-3.87
商品	CRB指数		184.434	182.823	180.207	178.209	179.994	+1.78

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

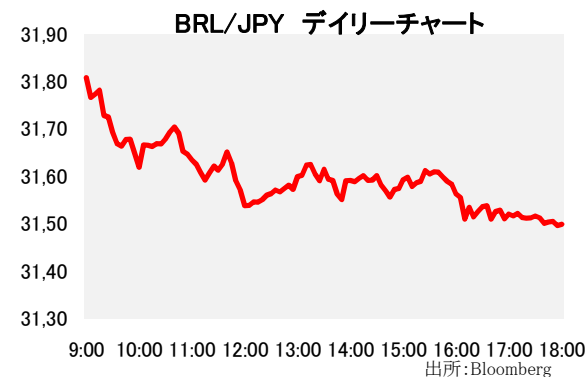
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
マーケット・ブラジルPMIコンポジット	--	44.4	46.4
マーケット・ブラジルPMIサービス業	--	42.7	45.6
貿易収支(週次)	--	\$489m	\$541m
(ユーロ)マーケットユーロ圏コンポジットPMI	53.3	52.9	53.3
(ユーロ)マーケットユーロ圏サービス業PMI	53.1	52.8	53.1



3. 要人コメント

メイレス伯財務相	米利上げはブラジルの成長回復を鈍化させることはない。
----------	----------------------------



4. トピックス

- 本日のレアルは3.2550で寄り付き後、直ぐさま本日の高値となる3.2470を付けた。しかし米祝日で薄商いとなる中、伯中銀によるドル買い介入が実施されるとレアルはじりじりと反落した。引け間際に日中安値となる3.2850まで下値を拡大した後、結局3.2830でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が▲3.16%から▲3.20%に下方修正された一方、2017年予想は+1.23%から+1.30%に上方修正された。また、2016年のインフレ率予想は7.34%に据え置かれ、2016年末の予想為替レートは3.29から3.26にレアル高方向へ修正された。
- 8月のユーロ圏コンポジットPMIが52.9と、7月の53.3から低下したほか、ユーロ圏サービス業PMIも52.8と予想の53.1を下回る展開となった。特にドイツでの拡大ペース鈍化が目立った。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。